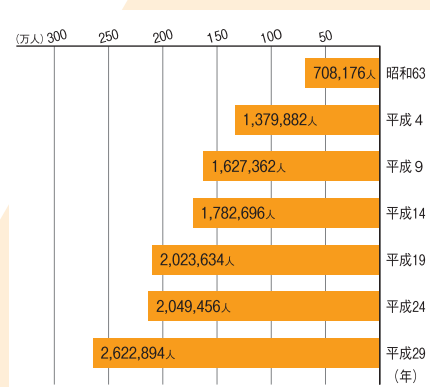


新幹線三河安城駅に 「ひかり」を 止めよう！



本市と安城商工会議所は関係各所に対して、新幹線三河安城駅へのひかり停車の誘致活動を推進しています。

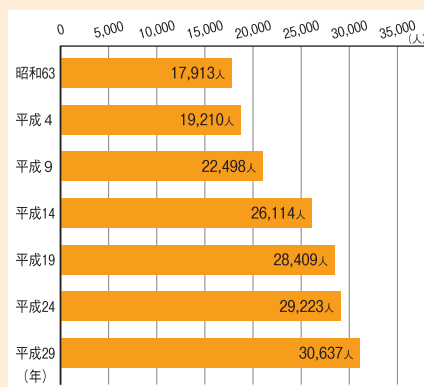
▶ 開発が進む三河安城駅周辺地域



三河安城駅の乗車人数
(在来線を含む。平成9年以前は推計値)

新幹線三河安城駅は昭和63年に開業し、今年3月13日に30周年を迎えました。この間、駅の周辺を土地区画整理事業によって整備し、現在ではマンションを中心とした住宅や企業の事務所等が立ち並ぶようになりました。

西三河地域の玄関口にふさわしいまちづくりが進み、ビジネスや観光における交流拠点として重要な役割を果たしています。



三河安城駅周辺地域の人口

▶ 西三河地域人口は160万人!!

安城市を含む西三河地域の人口は、約160万人です。この地域は日本経済を牽引するものづくり産業の拠点であり、世界をリードする自動車関連産業を始めとする優良企業が立地しています。それに加え多くの観光資源を有しています。

現在こだまが1時間に2本停車していますが、三河安城駅にひかりが停車するようになれば、利用者の利便性が向上し、地域経済の活性化につながります。



▶ リニア中央新幹線開業でもっと便利に!!

2027年に予定されているリニア中央新幹線開業によって、名古屋と東京は40分で結ばれるようになり、名古屋から新幹線を使うと約10分の安城市は、東京から60分以内でアクセスできる都市となります。首都圏から中京圏に及ぶ範囲で人口5千万人規模の巨大な交流圏が誕生し、この圏域は一体となって発展していくことが期待されています。

加えて三河安城駅にひかりが停車すれば、停車本数が増加する可能性もあります。それが実現すれば、さらに利便性が高まり、駅利用客の大幅増に伴う地域のさらなる活性化が期待されます。安城市及び西三河地域のますますの発展のために、新幹線三河安城駅における、ひかり停車の意義へのご理解をお願いします。